

第1節 目的

下久保ダム周辺で行う工事に伴い発生する建設発生土及びダム堆砂土について、下流河川への置土の可能性を検討し、適切な受入候補地および受入可能量を把握することを目的とする。

第2節 計画準備

目的及び内容を十分に把握し、円滑な業務の遂行ができるよう業務計画書を作成するものとする。

第3節 現地踏査

検討に必要な現地条件や河川空間の利用状況等を把握するため、現地踏査を実施するものとする。

第4節 ダム下流河川検討

建設発生土の受入れ及び堆砂対策を目的として、ダム下流河川区域内における受入候補地の検討を行うものとする。

受入地候補箇所の抽出は、以下に示す検討範囲を対象として実施するものとし、抽出にあたっては、施工時のアクセスも考慮するものとする。

(1) 検討範囲

下久保ダム直下から烏川合流点まで（神水ダム区間を除く、L=約 22 km）

(2) 検討方法

一次元不等流計算モデル（下久保ダム直下～神流川堰）

準二次元不等流計算モデル（神流川堰～烏川合流点）

(3) 断面数

約 80 断面

(4) 検討内容

建設発生土等について、下流河川の必要流下能力を確保した上で、受入可能な箇所及び受入可能量を検討する。あわせて、河川空間の利用促進も考慮し、高水敷への置土の適否についても検討する。

第5節 とりまとめ

検討結果を整理・分析し、業務成果を報告書としてとりまとめるものとする。

以 上

(別添図) 検討範囲

